

表 8.8-11(17) 注目すべき種の特性及び確認状況（セイタカシギ）

種名		セイタカシギ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法		-	
	環境省RL	VU			宮城県RDB		-	
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
種 の 特 性 (※)	全国分布	日本全国。						
	仙台市内の分布	-						
	形態	全長37cm。頭部の白色と黒色の入り方には個体変異がある。体下面は白っぽい。成鳥雄は背から腰が白い。肩羽と翼は黒く、紺色の光沢がある。成鳥雌は、頭の黒色がないか、あっても少ないものが多い。上面は黒褐色で光沢は少ない。						
	生息環境	干潟、河口、海岸に近い湖沼、池、河川、水田、湿地などに生息。						
番号	確認状況			地点数	確認数			
⑨	平成28年度の春季（5月）及び秋季（10月）調査時に生息を確認した。			5	8			
⑬	平成24年度及び平成29年度の春季（4月）調査時に生息を確認した。			-	-			
⑮	平成29年度の春季（4月）調査時に水域で生息を確認した。			-	-			
合計					8			

表 8.8-11(18) 注目すべき種の特性及び確認状況（オオジシギ）

種名		オオジシギ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法		-	
	環境省RL	NT			宮城県RDB		NT	
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	1,4	B	B	A	B	B		
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～本州。						
	仙台市内の分布	井土浦、蒲生、大沼、芳の平、南蒲生、名取川など。						
	形態	全長30cm。成鳥夏羽では、他のタシギ類よりも全体が白っぽい。						
	生息環境	草地、牧草地、湿地、水田、畑、池などに生息。						
番号	確認状況			地点数	確認数			
⑬	平成25年度の春季（5月）調査時に生息を確認した。			-	-			
合計					-			

表 8.8-11(19) 注目すべき種の特性及び確認状況（オオソリハシギ）

種名		オオソリハシギ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法		-	
	環境省RL	VU			宮城県RDB		-	
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
種 の 特 性 (※)	全国分布	日本には旅鳥として飛来。						
	仙台市内の分布	-						
	形態	全長39cm。嘴は長く、少し上に反っている。成鳥夏羽雄は額から頭頂、後頸は黒褐色で、赤褐色の羽縁がある。顔からの体下面は赤褐色。肩羽は黒褐色で、赤褐色と白っぽい斑が混じる。成鳥夏羽雌は雄より全体に淡色で大きい。						
	生息環境	海岸の砂浜、干潟、河口、海に近い水田や河川などに生息。						
番号	確認状況			地点数	確認数			
①	平成25年度の秋季（9月）調査時に干潟で生息を確認した。			-	-			
③	平成27年度の秋季（10月）調査時に生息を確認した。			-	-			
⑤	平成24年度の秋季（9月）調査時に生息を確認した。			-	1			
⑥	平成25年度の秋季（9～10月）調査時に生息を確認した。			4	16			
⑧	平成27年度の秋季（10月）調査時に生息を確認した。			4	10			
⑨	平成28年度の春季（4月）及び秋季（9～10月）調査時に生息を確認した。			11	34			
⑬	平成24年度～平成27年度、平成29年度の春季（4月）及び秋季（9月）調査時に生息を確認した。			-	-			
⑮	平成29年度の春季（4月）調査時に干潟で生息を確認した。			-	-			
合計					61			

表 8.8-11(20) 注目すべき種の特性及び確認状況（ハウロクシギ）

種名		ハウロクシギ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法		国際	
	環境省RL	VU			宮城県RDB		NT	
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	1,4	.	.	.	B			
種 の 特 性 (※)	全国分布	日本には旅鳥として出現。						
	仙台市内の分布	蒲生、井土浦など。						
	形態	全長63cm。成鳥は全体的に褐色で、背には黒褐色と淡い橙褐色の斑が、頸からの体下面には黒褐色の縦斑が密にある。						
	生息環境	海岸の砂浜、干潟、河口、水田、草地などに生息。						
番号	確認状況			地点数	確認数			
①	平成25年度の秋季（9月）調査時に干潟で生息を確認した。			-	-			
⑥	平成25年度の秋季（9月）調査時に生息を確認した。			3	6			
⑬	平成25年度の秋季（9月）及び平成29年度の春季（4月）調査時に生息を確認した。			-	-			
⑭	平成25年度の春季（3月）調査時に砂地で生息を確認した。			-	-			
⑮	平成29年度の春季（4月）調査時に干潟で生息を確認した。			-	-			
合計					6			

表 8.8-11(21) 注目すべき種の特性及び確認状況（アカアシシギ）

種名		アカアシシギ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法		-	
	環境省RL	VU			宮城県RDB		-	
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
1	.	.	.	B	B			
種 の 特 性 (※)	全国分布	日本には旅鳥として出現。						
	仙台市内の分布	井土浦、蒲生、大沼、赤沼等やその周辺の水田。						
	形態	全長28cm。夏羽、冬羽、年齢に関係なく背、腰、次列風切は白い。成鳥夏羽は頭部からの上面は灰褐色で、暗褐色の縦斑と、白色と黒褐色の横斑が混じる。喉から下面は白く、黒褐色の縦斑がある。成鳥冬羽では全体の斑が淡い。						
	生息環境	湿地、水田、ハス田、干潟などに生息。						
番号	確認状況			地点数	確認数			
③	平成27年度の秋季（10月）調査時に生息を確認した。			-	-			
⑦	平成27年度の夏季（8月）調査時に生息を確認した。			1	1			
合計					1			

表 8.8-11(22) 注目すべき種の特性及び確認状況（オバシギ）

種名		オバシギ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法		国際	
	環境省RL	-			宮城県RDB		-	
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
種 の 特 性 (※)	全国分布	日本には旅鳥として出現。						
	仙台市内の分布	-						
	形態	全長27cm。成鳥夏羽は頭部から頸、胸にかけて白く、黒褐色の縦斑が密にある。背と胸は黒く、白と橙色の斑がある。肩羽は橙色で、軸斑が黒く羽縁は白い。成鳥冬羽の上面は黒灰色で、黒い軸斑と細くて白い羽縁がある。						
	生息環境	干潟、河口、海岸の砂浜や岩場、水田、河川などに生息。						
番号	確認状況			地点数	確認数			
③	平成27年度の秋季（10月）調査時に生息を確認した。			-	-			
④	平成23年度の夏季（6月）調査時に生息を確認した。			1	1			
⑥	平成25年度の秋季（10月）調査時に生息を確認した。			1	1			
⑦	平成26年度の夏季（6月）調査時に生息を確認した。			1	1			
⑧	平成27年度の秋季（10月）調査時に生息を確認した。			2	2			
⑨	平成28年度の秋季（10月）調査時に生息を確認した。			1	1			
⑬	平成25年度～平成27年度、平成29年度の夏季（8月）及び秋季（9月）調査時に生息を確認した。			-	-			
合計					6			

表 8.8-11(23) 注目すべき種の特性及び確認状況（コオバシギ）

種名		コオバシギ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	国際		
	環境省RL	-			宮城県RDB	-		
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
全国分布		日本には旅鳥として出現。						
仙台市内の分布		-						
形態		全長24cm。成鳥夏羽は翼以外赤褐色で、頭頂から背と、胸側から脇腹にかけて黒褐色の縦斑がある。成鳥冬羽は頭からの上面は淡灰褐色で、胸から脇腹には灰褐色の縦斑がある。						
生息環境		干潟、河口、入江、海岸の砂浜、水田などに生息。						
番号	確認状況			地点数	確認数			
①	平成25年度の秋季（9月）調査時に干潟で生息を確認した。			-	-			
⑦	平成26年度の夏季（6月）調査時に生息を確認した。			1	1			
⑨	平成28年度の秋季（9月）調査時に生息を確認した。			3	4			
合計					5			

表 8.8-11(24) 注目すべき種の特性及び確認状況（サルハマシギ）

種名		サルハマシギ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	国際		
	環境省RL	-			宮城県RDB	-		
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
全国分布		日本には旅鳥として出現。						
仙台市内の分布		-						
形態		全長21cm。成鳥夏羽雄は嘴基部に近い額と喉の狭い部分が白く、顔、頸、胸、腹は鮮やかな赤褐色。頭頂と上面は黒褐色で、白色の斑が目立つ。成鳥冬羽は頭からの上面は灰色、胸から腹は白く、胸に淡い灰色斑がある。						
生息環境		干潟、海岸の砂浜や水溜り、河口、水田などに生息。						
番号	確認状況			地点数	確認数			
⑬	平成25年度の秋季（9月）調査時に生息を確認した。			-	-			
合計					-			

表 8.8-11 (25) 注目すべき種の特性及び確認状況（ハマシギ）

種名		ハマシギ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法		-	
	環境省RL	NT			宮城県RDB		-	
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	1,4	・	・	・	・	C	○	
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～南西諸島。						
	仙台市内の分布	井土浦、蒲生広瀬川合流点付近など。						
	形態	全長21cm。成鳥夏羽の頭頂と上面は淡い茶色で、黒色斑がある。顔から胸は白っぽく、黒褐色の細い縦斑があり、腹は黒い。成鳥冬羽は上面が灰褐色で、褐色の縦斑があり、羽縁はわずかに白っぽい。						
	生息環境	干潟、河口、汽水湖、海岸の砂浜や岩場、水田、湿地、河川、湖沼や池の湿泥地などに生息。						
番号	確認状況				地点数	確認数		
③	平成27年度の秋季（10月）調査時に生息を確認した。				-	-		
⑤	平成24年度の秋季（9～11月）及び冬季（12～1月）調査時に生息を確認した。				-	130		
⑥	平成25年度の秋季（10～11月）及び冬季（12～1月）調査時に生息を確認した。				9	208		
⑦	平成26年度の秋季（11月）及び冬季（12月）調査時に生息を確認した。				22	531		
⑧	平成27年度の秋季（9～11月）及び冬季（12～1月）調査時に生息を確認した。				18	389		
⑨	平成28年度の春季（4月）及び秋季（9～11月）、冬季（12～1月）調査時に生息を確認した。				16	427		
⑬	平成24年度～平成26年度の春季（5月）及び秋季（9月）、冬季（12月）調査時に生息を確認した。				-	-		
⑭	平成24年度の春季（3月）及び平成27年度の冬季（1月）調査時に水域で、平成27年度の冬季（2月）調査時に干潟で生息を確認した。				-	-		
⑮	平成28年度の冬季（1～2月）及び平成29年度の春季（5月）調査時に水域及び干潟で生息を確認した。				-	-		
合計						1,685		

表 8.8-11 (26) 注目すべき種の特性及び確認状況（コアジサシ）

種名		コアジサシ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法		国際	
	環境省RL	VU			宮城県RDB		VU	
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	1,2,4	・	・	A	B	B		
種 の 特 性 (※)	全国分布	本州以南。						
	仙台市内の分布	名取川、広瀬川、井土浦、大沼、蒲生など。						
	形態	全長約24cm。アジサシよりかなり小さい。成鳥夏羽は頭と過眼線は黒く、上面は灰色で、額と体下面は白い。尾は白くて燕尾型。嘴は黄色で、先は黒い。足は橙色。成鳥冬羽は頭頂が白くなり、嘴は黒色、脚は暗黄褐色になる。						
	生息環境	海岸、内湾、港、河口、河川、湖沼、池などに生息。						
番号	確認状況				地点数	確認数		
②	平成26年度の夏季（7月）調査時に生息を確認した。				-	-		
⑤	平成24年度の夏季（6月）調査時に生息を確認した。				-	7		
合計						7		

表 8.8-11 (27) 注目すべき種の特性及び確認状況（ウミスズメ）

種名		ウミスズメ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	-
	環境省RL	CR			宮城県RDB	-
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
1,4	/	/	/	/	.	
種 の 特 性 (※)	全国分布	日本全国の沿岸。				
	仙台市内の分布	仙台港、蒲生干潟など。				
	形態	全長25cm。夏羽は頭部が黒く、目の上から後頭にかけて白い飾り羽がある。冬羽では頭の黒味が淡色になり、頬から喉も白くなる。				
	生息環境	沖合に生息。沿岸、内湾、港などにも入る。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
⑨	平成28年度の春季（5月）調査時に生息を確認した。			2	23	
合計					23	

表 8.8-11 (28) 注目すべき種の特性及び確認状況（ミサゴ）

種名		ミサゴ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	-
	環境省RL	NT			宮城県RDB	-
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
1,4	.	.	.	C	C	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～沖縄。				
	仙台市内の分布	蒲生、広瀬川、大沼、三共堤、七北田川、名取川など。				
	形態	全長雄55cm、雌65cm。翼が細長く、尾が短い。頭部が白っぽく、過眼線から後ろ襟にかけてと、背、翼上面は黒褐色。下面と下雨覆は白く、胸に褐色の帯があるがほとんど無い個体もあり、この帯は雄が細く、雌が太い傾向がある。幼鳥は上面の各羽に白い羽縁がある。				
	生息環境	海岸や湖沼、大河川などの水辺に生息。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
①	平成25年度の秋季（9月）調査時に干潟で生息を確認した。			-	-	
②	平成26年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に干潟で生息を確認した。			-	-	
③	平成27年度の夏季（8月）及び秋季（10月）調査時に生息を確認した。			-	-	
④	平成23年度の夏季（6～8月）及び秋季（9～11月）調査時に生息を確認した。			6	7	
⑤	平成24年度の夏季（6～8月）及び秋季（11月）、冬季（1月）調査時に生息を確認した。			-	11	
⑥	平成25年度の夏季（7～8月）及び秋季（9～11月）及び冬季（12～1月）調査時に生息を確認した。			25	30	
⑦	平成26年度の夏季（6～8月）及び秋季（9～11月）及び冬季（12～1月）調査時に生息を確認した。			41	42	
⑧	平成27年度の夏季（6～8月）及び秋季（9～11月）、冬季（12～1月）調査時に生息を確認した。			14	18	
⑨	平成28年度の春季（5月）及び夏季（6～8月）、秋季（9～11月）、冬季（12～1月）調査時に生息を確認した。			28	29	
合計					137	

表 8.8-11(29) 注目すべき種の特性及び確認状況（ハイタカ）

種名		ハイタカ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法		-	
	環境省RL	NT			宮城県RDB		NT	
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
1,4	C	C	C	C	C			
種の特 性 (※)	全国分布	日本全国。						
	仙台市内の分布	太白山周辺、泉区寺岡、丸田沢、二口、朴沢、芋沢、蒲生、井土浦など。						
	形態	全長は雄が約32cm、雌が39cm。頭部から背面が暗青灰色。腹部は白く、胸から腹には細かい横斑がある。頬の暗色部と淡色部の境界はやや不明瞭。雄は眉斑が無いがあっても細い。頬から胸に橙褐色の横斑が密にある。雌は眉斑が細いものから太く明瞭なものまで個体差が大きい。幼鳥は上面の褐色味が強く、胸には錆色の太い横斑がある。初列風切羽の指状羽は6枚。						
	生息環境	平地から亜高山帯の林に生息。						
番号	確認状況				地点数	確認数		
⑦	平成26年度の秋季（11月）調査時に生息を確認した。				1	1		
合計						1		

表 8.8-11(30) 注目すべき種の特性及び確認状況（オオタカ）

種名		オオタカ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法		-	
	環境省RL	NT			宮城県RDB		NT	
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
1,4	C	C	B	B	C	○		
種の特 性 (※)	全国分布	日本全国。						
	仙台市内の分布	青葉山、七北田川、蒲生、名取川、井土浦、広瀬川、大沼、南長沼、二口峡、ネッタ峠、定義、サイカチ沼、荒巻、岩切、台原、福岡など。						
	形態	全長雄50cm、雌58cm。成鳥雄は上面が暗青灰色で白い眉斑がある。下面は白く、胸や腹に細かい横斑がある。雌は雄とほぼ同色だがより褐色みが強い。若鳥は背面が赤味のある褐色、下面は淡い褐色で黒褐色の縦斑があり、顔は細かい斑が集まった不明瞭な模様をしている。						
	生息環境	平地から山地の林、河川、農耕地、湖沼などに生息。						
番号	確認状況				地点数	確認数		
③	平成27年度の秋季（10月）調査時に生息を確認した。				-	-		
④	平成23年度の夏季（6月）及び秋季（10月）調査時に生息を確認した。				2	2		
⑤	平成24年度の夏季（6月）及び秋季（11月）、冬季（12月）調査時に生息を確認した。				-	3		
⑥	平成25年度の秋季（9月）調査時に生息を確認した。				1	1		
⑧	平成27年度の秋季（10月）調査時に生息を確認した。平成27年度の冬季（1月）調査時に生息を確認した。				1	1		
⑨	平成28年度の秋季（9～10月）調査時に生息を確認した。				2	2		
合計						9		

表 8.8-11(31) 注目すべき種の特性及び確認状況（ノスリ）

種名		ノスリ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	-
	環境省RL	-			宮城県RDB	-
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	+	C	C	C	・	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	日本全国。				
	仙台市内の分布	青葉山、県民の森、十里平、広瀬川、井土浦、蒲生、名取川など。				
	形態	全長雄52cm、雌56cm。模様や羽色に個体差が大きい。頭部から頸にかけては淡褐色あるいは暗褐色などで、暗色の縦斑がある。上面は茶褐色や暗褐色などで、淡色の羽縁がある。胸から腹上部にかけては汚白色で褐色の縦斑があり、下腹部は茶褐色や暗褐色。嘴は黒く蠟膜は淡い黄色。脚は黄色い。成鳥では虹彩が暗色で、若鳥では淡黄色。				
	生息環境	平地から山地の林や草原、農耕地、牧場、河原などに生息。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
②	平成26年度の秋季（9月）調査時に生息を確認した。			-	-	
③	平成27年度の夏季（8月）及び秋季（10月）調査時に生息を確認した。			-	-	
⑤	平成24年度の冬季（12～1月）調査時に生息を確認した。			-	4	
⑥	平成25年度の夏季（8月）及び秋季（9～11月）、冬季（12～1月）調査時に生息を確認した。			1	1	
⑦	平成26年度の秋季（10月）及び冬季（1月）調査時に生息を確認した。			2	2	
⑧	平成27年度の秋季（10月）及び冬季（12月）調査時に生息を確認した。			2	2	
⑨	平成28年度の夏季（8月）及び秋季（9～11月）、冬季（12～1月）調査時に生息を確認した。			8	8	
合計					17	

表 8.8-11(32) 注目すべき種の特性及び確認状況（コミミズク）

種名		コミミズク				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	-
	環境省RL	-			宮城県RDB	要
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	1	・	B	A	B	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～九州。				
	仙台市内の分布	笹川、東部水田地帯、田子、大沼、蒲生など。				
	形態	全長38cm。羽色にはかなり個体変異があり、頭部から上面は褐色、淡い橙褐色、白色の複雑な模様。				
	生息環境	平地から山地の草原、農耕地、川原、埋立地などに生息。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
⑨	平成28年度の冬季（1月）調査時に生息を確認した。			1	1	
合計					1	

表 8.8-11(33) 注目すべき種の特性及び確認状況（カワセミ）

種名		カワセミ					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	-	
	環境省RL	-			宮城県RDB	-	
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					環境 指標種
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	1,4	.	C	C	C	.	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	日本全国。					
	仙台市内の分布	広瀬川、名取川、築川、二口峡谷、月山池周辺、台原、七北田川、蒲生、南長沼、長沼、将監沼、大倉川、青下ダム、小松島新堤沼、梅田川、与兵衛沼、鶴ヶ谷、南蒲生など。					
	形態	全長17cm。成鳥の翼は黒っぽく、薄い青色の斑があり、光の具合で緑色や青色にも見える。背から上尾筒にかけては光沢のある青色。耳羽、腹、下雨覆は赤橙色、耳羽後方と喉は白い。					
	生息環境	海岸から低山の河川、湖沼、池などで生息。					
番号	確認状況			地点数	確認数		
②	平成26年度の秋季（9月）調査時に生息を確認した。			-	-		
③	平成27年度の秋季（10月）調査時に生息を確認した。			-	-		
④	平成23年度の夏季（6～8月）及び秋季（10月）調査時に生息を確認した。			4	5		
⑤	平成24年度の冬季（2月）調査時に生息を確認した。			-	1		
⑥	平成25年度の夏季（7月）及び秋季（9～11月）調査時に生息を確認した。			6	6		
⑦	平成26年度の夏季（6～8月）調査時に生息を確認した。			6	7		
⑧	平成27年度の秋季（9～10月）調査時に生息を確認した。			3	3		
⑨	平成28年度の夏季（7月）及び秋季（9～11月）調査時に生息を確認した。			4	4		
合計					26		

表 8.8-11(34) 注目すべき種の特性及び確認状況（アカゲラ）

種名		アカゲラ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	-
	環境省RL	-			宮城県RDB	-
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	+	C	B	C	C	
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～本州。				
	仙台市内の分布	二口、丸田沢、朴沢、作並、大倉、旗立、芋沢、青葉山、鉤取治山の森、広瀬川下流など。				
	形態	全長24cm。成鳥雄は頭と顎線が黒く、後頭は赤い。上面も黒く、肩羽と雨覆に白い斑がある。喉から下面は汚白色で、下尾筒は赤い。成鳥雌には後頭の赤色がない。				
	生息環境	平地から山地の林に生息。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
②	平成26年度の秋季（9月）調査時に生息を確認した。			-	-	
⑨	平成28年度の秋季（9～10月）調査時に生息を確認した。			3	3	
合計					3	

表 8.8-11(35) 注目すべき種の特性及び確認状況（アオゲラ）

種名		アオゲラ					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	-	
	環境省RL	-			宮城県RDB	-	
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	+	C	B	C	C	○	
種の特 性 (※)	全国分布	本州～屋久島。					
	仙台市内の分布	二口、鉤取治山の森、青葉山公園、丸田沢、朴沢、大倉、青下、旗立、芋沢など。					
	形態	全長29cm。成鳥雄は額から後頭にかけてと顎線の一部が赤い。顔と頸は灰色、背と肩羽は灰緑色、上尾筒には黄色味がある。喉は白く、体下面は汚白色で、脇と下腹部には黒褐色の横斑がある。成鳥雌は後頭と顎線の一部が赤い。					
	生息環境	平地から山地の広葉樹林や混交林に生息。					
番号	確認状況			地点数	確認数		
②	平成26年度の秋季（9月）調査時に生息を確認した。			-	-		
合計					-		

表 8.8-11(36) 注目すべき種の特性及び確認状況（チョウゲンボウ）

種名		チョウゲンボウ					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	-	
	環境省RL	-			宮城県RDB	-	
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	1,4	C	B	C	B		
種の特 性 (※)	全国分布	日本各地。					
	仙台市内の分布	東部平野の建造物、朴沢、芋沢など。					
	形態	全長35cm。成鳥雄は頭と尾羽が青灰色。上面は茶褐色で黒い斑があり、体下面は淡黄褐色で黒褐色の縦斑がある。成鳥雌は上面が淡い茶褐色で、黒褐色の斑がある。					
	生息環境	平地から高山の草地、農耕地、川原、埋立地などに生息。					
番号	確認状況			地点数	確認数		
②	平成26年度の夏季（7月）調査時に生息を確認した。			-	-		
③	平成27年度の夏季（8月）及び秋季（10月）調査時に生息を確認した。			-	-		
④	平成23年度の夏季（6～7月）及び秋季（10月）調査時に生息を確認した。			3	3		
⑤	平成24年度の夏季（8月）調査時に生息を確認した。			-	1		
⑥	平成25年度の夏季（7月）及び秋季（9～10月）、冬季（12～1月）調査時に生息を確認した。			6	6		
⑦	平成26年度の夏季（6,8月）及び秋季（11月）調査時に生息を確認した。			3	4		
⑧	平成27年度の夏季（8月）調査時に生息を確認した。			2	2		
⑨	平成28年度の夏季（8月）及び秋季（10～11月）調査時に生息を確認した。			3	5		
合計					21		

表 8.8-11(37) 注目すべき種の特性及び確認状況（ハヤブサ）

種名		ハヤブサ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	国内		
	環境省RL	VU			宮城県RDB	NT		
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	1,4	C	B	B	B	B		
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～九州。						
	仙台市内の分布	青葉山、経ヶ峰、四郎丸、井土浦、蒲生、大沼、仙台港、広瀬川、三神峯、荒井、台原、大年寺山、小鶴、南蒲生など。						
	形態	全長は雄が約42cm、雌が約49cm。飛翔中の翼の先はタカ科のように指状に広がらず、尖って見える。成鳥は頭からの上面が暗青灰色で、頬に髭状の黒い斑がある。胸から腹にかけては白く、黒く細かい横斑がある。幼鳥の上面は淡黒褐色で、羽縁に淡色斑がある。下面はクリーム色で、褐色の太めの縦斑がある。						
	生息環境	平地から山地の河川、海岸、湖沼、農耕地などに生息。						
番号	確認状況				地点数	確認数		
①	平成25年度の秋季（9月）調査時に開放水域で生息を確認した。				-	-		
④	平成23年度の夏季（8月）及び秋季（10月）調査時に生息を確認した。				2	2		
⑥	平成25年度の秋季（9月）調査時に生息を確認した。				1	1		
⑦	平成26年度の夏季（7月）及び秋季（11月）調査時に生息を確認した。				2	2		
⑨	平成28年度の夏季（6～8月）及び冬季（1月）調査時に生息を確認した。				7	7		
合計						12		

表 8.8-11(38) 注目すべき種の特性及び確認状況（サンショウクイ）

種名		サンショウクイ						
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	-		
	環境省RL	VU			宮城県RDB	VU		
	仙台市							
	学術上 重要種	減少種						環境 指標種
		山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	C	C	B	C	C			
種 の 特 性 (※)	全国分布	本州～九州。						
	仙台市内の分布	二口、茂庭、釣取治山の森、八木山、青葉山公園、鶴ヶ谷、井土浦、丸田沢、朴沢、芋沢など。						
	形態	全長20cm。雄成鳥は額と喉からの体下面が白い。頭頂から後頸、過眼線は黒くつながっている。背と雨覆いは灰黒色。成鳥雌は、雄より額の白い部分が多少狭い。						
	生息環境	平地から低山の林などに生息。						
番号	確認状況				地点数	確認数		
⑨	平成28年度の秋季（10月）調査時に生息を確認した。				1	1		
合計						1		

表 8.8-11 (39) 注目すべき種の特性及び確認状況 (モズ)

種 名		モズ					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	-	
	環境省RL	-			宮城県RDB	-	
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					環境 指標種
		山 地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海 浜	
1	+	C	B	C	C	○	
(※) 種 の 特 性	全国分布	日本全国。					
	仙台市内の分布	二口、丸田沢、旗立、芋沢、広瀬川、名取川、青葉山公園など。					
	形 態	全長20cm。成鳥雄は過眼線が黒く、初列風切の基部には白斑がある。成鳥雌は過眼線が褐色で、初列風切の白斑はない。					
	生息環境	平地から山地の開けた環境に生息。					
番 号	確認状況			地点数	確認数		
①	平成25年度の秋季（9月）調査時に非耕作農地及び被災樹林で生息を確認した。			-	-		
②	平成26年度の秋季（9月）調査時に生息を確認した。			-	-		
③	平成27年度の夏季（8月）及び秋季（10月）調査時に生息を確認した。			-	-		
④	平成23年度の秋季（10～11月）調査時に生息を確認した。			2	2		
⑤	平成24年度の秋季（11月）及び冬季（1月）調査時に生息を確認した。			-	5		
⑥	平成25年度の夏季（6月）及び秋季（10月）、冬季（1月）調査時に生息を確認した。			5	5		
⑦	平成26年度の夏季（7～8月）及び秋季（9～11月）及び冬季（12～1月）調査時に生息を確認した。			14	14		
⑧	平成27年度の夏季（6～8月）及び秋季（9～10月）調査時に生息を確認した。			9	9		
⑨	平成28年度の春季（5月）及び夏季（6～8月）、秋季（9～11月）、冬季（12～1月）調査時に生息を確認した。			32	32		
合 計					67		

表 8.8-11(40) 注目すべき種の特性及び確認状況（ヒバリ）

種 名		ヒバリ					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	-	
	環境省RL	-			宮城県RDB	-	
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					環境 指標種
		山 地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海 浜	
	・	C	B	C	C	○	
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～九州。					
	仙台市内の分布	市内全域で背丈の低い休耕田等の草地、丸田沢、芋沢など。					
	形 態	全長17cm。頭からの尾羽までの上面は淡い黄褐色で、黒褐色の斑がある。眉斑は白っぽく、耳羽は赤褐色味がある。体下面は白っぽく、胸には淡い黒褐色の縦斑、脇腹には褐色の縦斑がある。					
	生息環境	農耕地、草地、川原などに生息。					
番 号	確認状況			地点数	確認数		
①	平成25年度の秋季（9月）調査時に住宅跡で生息を確認した。			-	-		
②	平成26年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生息を確認した。			-	-		
③	平成27年度の夏季（8月）及び秋季（10月）調査時に生息を確認した。			-	-		
④	平成23年度の夏季（6～8月）及び秋季（9～11月）調査時に生息を確認した。			7	18		
⑤	平成24年度の春季（3、5月）及び夏季（6～7月）、秋季（10月）調査時に生息を確認した。			-	56		
⑥	平成25年度の夏季（7～8月）及び秋季（9～11月）、冬季（12～1月）調査時に生息を確認した。			23	46		
⑦	平成26年度の夏季（6～7月）及び秋季（10～11月）、冬季（12～1月）調査時に生息を確認した。			18	28		
⑧	平成27年度の夏季（6～8月）及び秋季（9～10月）、冬季（12月）調査時に生息を確認した。			11	19		
⑨	平成28年度の春季（4～5月）及び夏季（6～7月）、秋季（9～11月）、冬季（12～1月）調査時に生息を確認した。			29	40		
合 計					207		

表 8.8-11(41) 注目すべき種の特性及び確認状況（ツバメ）

種名		ツバメ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	-
	環境省RL	-			宮城県RDB	-
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	.	C	C	C	.	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	日本全国。				
	仙台市内の分布	市街地中心部を除いた全域。				
	形態	全長17cm。額と喉は赤茶色。頭頂からの上面は光沢のある紺色で、風切と尾羽は黒い。胸から下尾筒までの体下面は白い。				
	生息環境	市街地や田畑、海岸、河川など様々な環境に生息。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
①	平成25年度の秋季（9月）調査時に非耕作農地で生息を確認した。			-	-	
②	平成26年度の夏季（7月）調査時に生息を確認した。			-	-	
③	平成27年度の夏季（8月）調査時に生息を確認した。			-	-	
④	平成23年度の夏季（6～8月）調査時に生息を確認した。			3	5	
⑤	平成24年度の春季（5月）及び夏季（6～8月）、秋季（9月）調査時に生息を確認した。			-	89	
⑥	平成25年度の夏季（7～8月）調査時に生息を確認した。			7	9	
⑦	平成26年度の夏季（7～8月）及び秋季（9月）調査時に生息を確認した。			12	45	
⑧	平成27年度の夏季（6～8月）及び秋季（9月）調査時に生息を確認した。			13	14	
⑨	平成28年度の春季（4～5月）及び夏季（6～7月）、秋季（9月）調査時に生息を確認した。			14	49	
合計					211	

表 8.8-11(42) 注目すべき種の特性及び確認状況（ウグイス）

種名		ウグイス				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	-
	環境省RL	-			宮城県RDB	-
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	1,4	+	+	C	C	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～九州。				
	仙台市内の分布	太白山周辺、青葉山公園、広瀬川、名取川、七北田川、二口、丸田沢、朴沢、旗立、芋沢、井土浦、蒲生など。				
	形態	全長14～16cm。頭から上面は地味な灰色味のある黄緑色で、汚白色の眉斑がある。脇腹は淡褐色。				
	生息環境	平地から山地のササ類や低木林、公園や高原などに生息。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
①	平成25年度の秋季（9月）調査時に被災樹林で生息を確認した。			-	-	
③	平成27年度の秋季（10月）調査時に生息を確認した。			-	-	
⑦	平成26年度の冬季（12月）調査時に生息を確認した。			1	1	
⑧	平成27年度の夏季（8月）調査時に生息を確認した。			1	1	
⑨	平成28年度の春季（4～5月）及び夏季（6～7月）、秋季（10～11月）、冬季（12～1月）調査時に生息を確認した。			21	21	
合計					23	

表 8.8-11(43) 注目すべき種の特性及び確認状況（オオセッカ）

種名		オオセッカ					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	国内	
	環境省RL	EN			宮城県RDB	VU	
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					環境 指標種
	山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	1,3,4	
種 の 特 性 (※)	全国分布	東北、関東などに局地的。					
	仙台市内の分布	蒲生海岸、井土浦。					
	形態	全長13cm。頭からの上面は淡い茶色で、頭頂に細かい黒褐色の斑がある。顔は淡色で、眉斑と体下面は白く、脇腹と下尾筒は淡褐色。					
	生息環境	平地のアシ原や草原などに生息。					
番号	確認状況				地点数	確認数	
③	平成27年度の秋季（10月）調査時に生息を確認した。				-	-	
合計						-	

表 8.8-11(44) 注目すべき種の特性及び確認状況（オオヨシキリ）

種名		オオヨシキリ					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	-	
	環境省RL	-			宮城県RDB	-	
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					環境 指標種
	山地	西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	1,4	.	C	B	C	C	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～九州。					
	仙台市内の分布	大倉ダム、川内、米ヶ袋、鶴ヶ谷、田子、将監、名取川、井土浦、霞目、南長沼、大沼、蒲生など。					
	形態	全長18cm。成鳥は頭からの上面が灰褐色で、額から頭頂や翼、尾はやや暗色。細い汚白色の眉斑がある。喉からの体下面は白っぽい、胸から脇腹にかけては淡褐色味がある。					
	生息環境	平地から山地の主にアシ原に生息。灌木の点在する草地にも入る。					
番号	確認状況				地点数	確認数	
①	平成25年度の秋季（9月）調査時に開放水域、湿地で生息を確認した。				-	-	
②	平成26年度の夏季（7月）調査時に生息を確認した。				-	-	
③	平成27年度の夏季（8月）調査時に生息を確認した。				-	-	
④	平成23年度の夏季（6～7月）調査時に生息を確認した。				2	2	
⑤	平成24年度の春季（5月）及び夏季（6～8月）、秋季（10月）調査時に生息を確認した。				-	65	
⑥	平成25年度の夏季（7～8月）及び秋季（9月）調査時に生息を確認した。				7	8	
⑦	平成26年度の夏季（6～8月）及び秋季（9月）調査時に生息を確認した。				40	40	
⑧	平成27年度の夏季（6～8月）調査時に生息を確認した。				47	47	
⑨	平成28年度の春季（5月）及び夏季（6～7月）調査時に生息を確認した。				43	53	
合計						215	

表 8.8-11 (45) 注目すべき種の特性及び確認状況（コヨシキリ）

種名		コヨシキリ					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	-	
	環境省RL	-			宮城県RDB	-	
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					環境 指標種
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	1,4	・	C	A	C	C	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～九州。					
	仙台市内の分布	青葉山、野牛、福田町、井土浦、広瀬川、南長沼、蒲生など。					
	形態	全長14cm。成鳥は頭からの上面が灰褐色で、頭側線と過眼線は黒褐色。眉斑と頬は汚白色で、喉からの体下面は白い。胸から脇腹は淡褐色。					
	生息環境	平地から山地の草原、湿原、川原などに生息。					
番号	確認状況			地点数	確認数		
②	平成26年度の秋季（9月）調査時に生息を確認した。			-	-		
③	平成27年度の夏季（8月）及び秋季（10月）調査時に生息を確認した。			-	-		
⑤	平成24年度の夏季（6月）調査時に生息を確認した。			-	1		
⑥	平成25年度の夏季（7月）調査時に生息を確認した。			7	7		
⑦	平成26年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に生息を確認した。			6	6		
⑧	平成27年度の夏季（6～8月）調査時に生息を確認した。			10	10		
⑨	平成28年度の夏季（6～7月）及び秋季（9月）調査時に生息を確認した。			16	16		
合計					40		

表 8.8-11 (46) 注目すべき種の特性及び確認状況（セッカ）

種名		セッカ					
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	-	
	環境省RL	-			宮城県RDB	-	
	仙台市						
	学術上 重要種	減少種					環境 指標種
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜		
	1,4	・	C	B	C	C	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～九州。					
	仙台市内の分布	丸田沢、広瀬川下流、井土浦、大沼、蒲生、七北田川など。					
	形態	全長13cm。成鳥夏羽は頭からの上面が黄褐色で、黒い縦斑がある。体下面は白っぽく、脇腹は褐色味がある。成鳥冬羽は夏羽に比べて腹に黄色味がある。					
	生息環境	平地の川原、草原、農耕地などに生息。					
番号	確認状況			地点数	確認数		
①	平成25年度の秋季（9月）調査時に開放水域及び湿地で確認した。			-	-		
②	平成26年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に干潟で生息を確認した。			-	-		
③	平成27年度の夏季（8月）及び秋季（10月）調査時に生息を確認した。			-	-		
⑥	平成25年度の夏季（8月）及び秋季（9月）調査時に生息を確認した。			7	7		
⑦	平成26年度の夏季（7月）及び秋季（9～10月）調査時に生息を確認した。			8	8		
⑧	平成27年度の夏季（6,8月）調査時に生息を確認した。			2	2		
⑨	平成28年度の春季（4～5月）及び夏季（6～7月）、秋季（9月）、冬季（12月）調査時に生息を確認した。			13	13		
合計					30		

表 8.8-11(47) 注目すべき種の特性及び確認状況（キビタキ）

種名		キビタキ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	-
	環境省RL	-			宮城県RDB	-
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	+	C	B	・	・	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～南西諸島。				
	仙台市内の分布	秋保町、二口、丸田沢、朴沢、芋沢、大倉、青下鉤取治山の森、台原森林公園、榴ヶ岡公園、井土浦、蒲生など。				
	形態	全長14cm。成鳥雄は上面が黒く、眉斑は橙黄色。喉から胸にかけて橙黄色で、腹は黄色い。雌は全体的にオリーブ褐色で、体下面は淡褐色。				
	生息環境	平地から山地の林に生息。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
②	平成26年度の秋季（9月）調査時に生息を確認した。			-	-	
合計					-	

表 8.8-11(48) 注目すべき種の特性及び確認状況（セグロセキレイ）

種名		セグロセキレイ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	-
	環境省RL	-			宮城県RDB	-
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	4	C	C	C	・	
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～南西諸島。				
	仙台市内の分布	秋保町、二口、広瀬川、大沼、作並、大倉、台原森林公園、丸田沢、朴沢、旗立、芋沢など。				
	形態	全長21cm。成鳥は背からの上面や頸、胸などが黒い。額から眉斑と喉、腹からの体下面は白い。雌よりも雄の方が全体に黒色の部分が濃い。				
	生息環境	平地から山地の河川、湖沼、農耕地などに生息。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
③	平成27年度の夏季（8月）調査時に生息を確認した。			-	-	
⑤	平成24年度の冬季（1月）調査時に生息を確認した。			-	1	
⑦	平成26年度の夏季（6～7月）調査時に生息を確認した。			2	3	
⑨	平成28年度の秋季（10月）調査時に生息を確認した。			3	3	
合計					7	

表 8.8-11(49) 注目すべき種の特性及び確認状況（ホオジロ）

種名		ホオジロ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	-
	環境省RL	-			宮城県RDB	-
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	+	+	B	C	C	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～九州。				
	仙台市内の分布	秋保町、二口、広瀬川、太白山自然観察の森、大倉、水の森公園、鶴ヶ谷、梅田川、井土浦、蒲生、水の森公園、丸田沢、朴沢、旗立、芋沢など。				
	形態	全長17cm。成鳥雄は眉斑と頬線、喉が白く、頭側線と過眼線、耳羽、顎線は黒い。上面は茶褐色で、黒い縦斑がある。成鳥雌は雄より淡色で、頭部の黒色部分は茶褐色。				
	生息環境	平地から山地の草原、農耕地、疎林、河原などに生息。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
①	平成25年度の秋季（9月）調査時に被災樹林で生息を確認した。			-	-	
②	平成26年度の夏季（7月）及び秋季（9月）調査時に干潟で生息を確認した。			-	-	
③	平成27年度の夏季（8月）及び秋季（10月）調査時に生息を確認した。			-	-	
④	平成23年度の秋季（9月）調査時に鳴き声のみ確認した。			-	-	
⑤	平成24年度の春季（4～5月）及び夏季（6～8月）、冬季（12～1月）調査時に生息を確認した。			-	25	
⑥	平成25年度の夏季（7～8月）及び冬季（12～1）調査時に生息を確認した。			3	4	
⑦	平成26年度の夏季（7～8月）及び秋季（11月）、冬季（12月）調査時に生息を確認した。			22	41	
⑧	平成27年度の夏季（6～8月）及び冬季（12～1月）調査時に生息を確認した。			10	20	
⑨	平成28年度の春季（4月）及び夏季（7月）、秋季（10～11月）、冬季（12～1月）調査時に生息を確認した。			19	34	
合計					124	

表 8.8-11(50) 注目すべき種の特性及び確認状況（ホオアカ）

種名		ホオアカ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	-
	環境省RL	-			宮城県RDB	-
	仙台市					
	学術上 重要種	減少種				
山地		西部丘陵地・ 田園	市街地	東部田園	海浜	
	B	C	A	C	B	○
種 の 特 性 (※)	全国分布	北海道～九州。				
	仙台市内の分布	泉ヶ岳、七北田ダム、芳の平、水の森公園、丸田沢、芋沢、井土浦、蒲生など。				
	形態	全長16cm。成長雄は頭部が灰色で、黒褐色の縦斑が密にある。頬は茶色で、後方に小さな白斑がある。上面は薄茶色。喉から胸にかけては白く、胸にT字形の黒い模様と茶色い横帯がある。成鳥雌は頭部の灰色がやや薄い。				
	生息環境	平地から山地の草原、川原、農耕地などに生息。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
①	平成25年度の秋季（9月）調査時に湿地で生息を確認した。			-	-	
④	平成23年度の夏季（7月）調査時に生息を確認した。			1	1	
⑥	平成25年度の夏季（7～8月）調査時に生息を確認した。			3	3	
⑦	平成26年度の夏季（7月）及び秋季（9～10月）調査時に生息を確認した。			9	10	
⑧	平成27年度の夏季（6～8月）調査時に生息を確認した。			3	3	
⑨	平成28年度の夏季（6～7月）調査時に生息を確認した。			3	3	
合計					20	

表 8.8-11 (51) 注目すべき種の特性及び確認状況 (アオジ)

種名		アオジ				
注目すべき種の 選定基準	文化財保護法	-			種の保存法	-
	環境省RL	-			宮城県RDB	-
	仙台市					
	学術上重要種	減少種				環境指標種
	山地	西部丘陵地・田園	市街地	東部田園	海浜	
	C	C	C	C	C	○
(※) 種の特性	全国分布	北海道～九州。				
	仙台市内の分布	丸田沢、二口、朴沢、旗立、芋沢、広瀬川、名取川など。				
	形態	全長16cm。成鳥雄の夏羽は頭から背が灰黄緑色。顔は目先から嘴基部が黒い。喉から腹部は全体的に黄色く、脇腹に黒褐色の縦斑がある。成鳥雌は、全体的に雄よりも色が淡く、目先は黒くなく、頭部全体に褐色みがあり、淡色の眉斑や顎線がある。				
	生息環境	平地から山地の、疎林や低木の林、草原などに生息。				
番号	確認状況			地点数	確認数	
②	平成26年度の夏季(7月)調査時に生息を確認した。			-	-	
③	平成27年度の秋季(10月)調査時に生息を確認した。			-	-	
④	平成23年度の夏季(6～7月)調査時に生息を確認した。			2	2	
⑤	平成24年度の春季(3,5月)及び夏季(6～7月)冬季(2月)調査時に生息を確認した。			-	36	
⑥	平成25年度の夏季(7月)調査時に生息を確認した。			3	3	
⑦	平成26年度の夏季(7月)及び秋季(10月)、冬季(12～1月)調査時に生息を確認した。			12	16	
⑧	平成27年度の夏季(6～7月)及び秋季(10月)調査時に生息を確認した。			4	4	
⑨	平成28年度の春季(4～5月)及び夏季(6～7月)、秋季(10～11月)、冬季(12～1月)調査時に生息を確認した。			25	30	
合計					91	

注：1. 「仙台市内の分布」は「平成28年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」(平成29年 仙台市)から、「全国分布」、「形態」、「生息環境」は「新版 山溪ハンディ図鑑7日本の野鳥」(2014年 山と溪谷社)から引用した。
2. 注目すべき種の選定基準の区分は、表8.8-5・6のとおりであり、「番号」は表8.8-3の資料番号に対応する。

ウ. 爬虫類

(7) 確認種

既存資料調査の結果は表8.8-12のとおりであり、1目1科1種が確認された。

表 8.8-12 爬虫類の確認種 (既存資料調査結果)

No.	目名	科名	種名	資料番号
				②
1	カメ	ヌマガメ	ミシシippアカミミガメ	○
-	1目	1科	1種	1種

注：1. 種名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成30年度生物リスト」(平成30年、国土交通省)に準拠した。
2. 「資料番号」は、表8.8-3の資料番号に対応する。

(4) 注目すべき種

確認された爬虫類のうち、表8.8-5・6に示した選定基準に該当する注目すべき種はなかった。